

2 各部の基本納まり図

2-10 笠木部

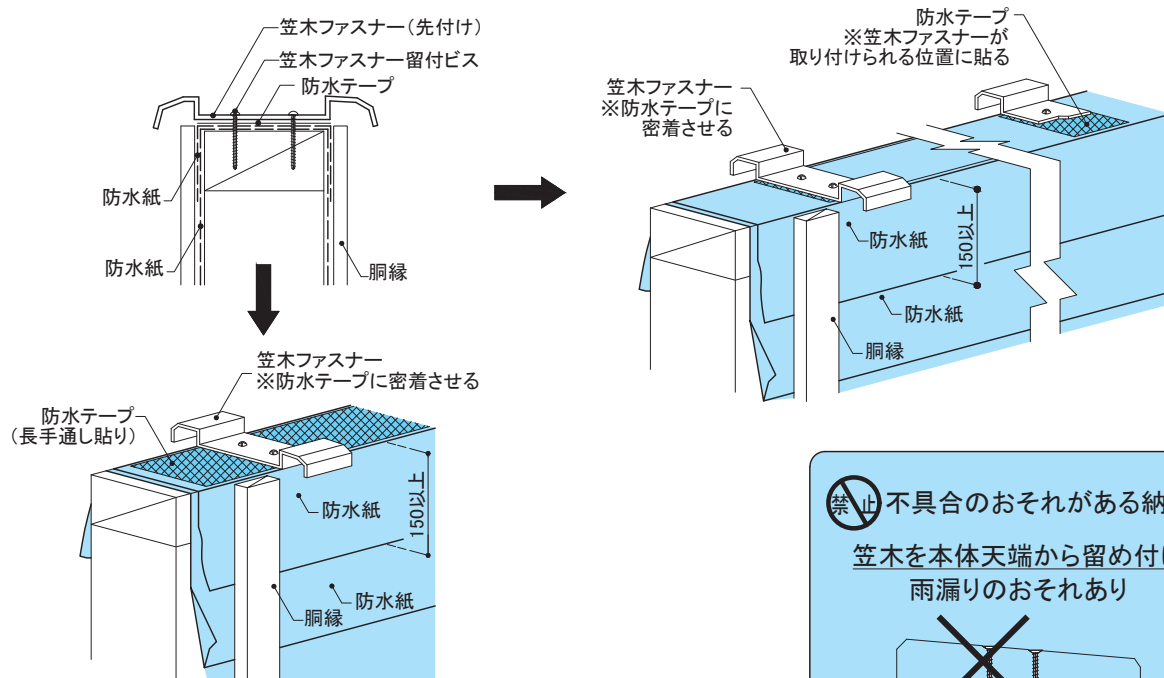
1) 基本納まり

●防水紙が張り上がった後、笠木の天端は図のように長手方向に防水テープを貼るか、事前に笠木を取り付ける工事業者または現場管理者に確認を行い、笠木ファスナーの位置がわかる場合は、その位置に防水テープを貼り付けます。

●笠木は外勾配にはしないでください。

●雨漏りの危険があるため、笠木本体や手すり部材は上部から直接留め付けしないでください。

※笠木のタイプにより外壁取り合い部が異なります。外壁工事と施工順が変わる事もありますので必ず事前に確認してから施工してください。図は笠木取付金具（先付け笠木ファスナー）の取り付け後、笠木本体を後にはめ込むタイプの例です。

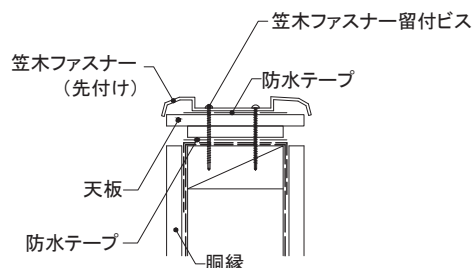
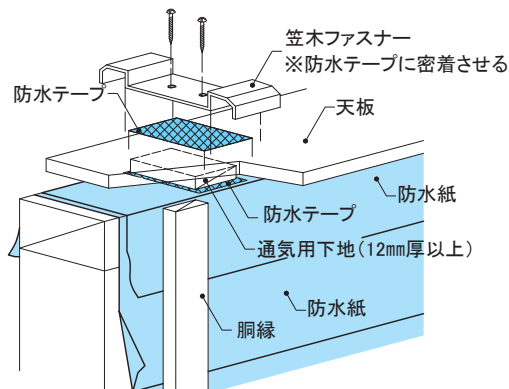


＜天板を入れる場合＞

●天板を取り付ける場合は通気用下地を留め付け、その上に天板を取り付けます。その場合は通気用下地の裏に防水テープを貼り付けます。

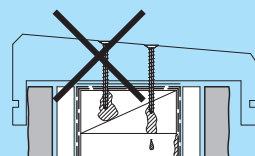
●笠木ファスナーは、通気用下地がある部分の天板に再度防水テープを貼ってから笠木ファスナーを留め付けてください(※)。

※笠木取り付け工事業者様の施工



禁止 不具合のおそれがある納まり

笠木を本体天端から留め付け
雨漏りのおそれあり



笠木を外勾配で取り付け
外壁表面を多量の雨水が流れる
おそれあり

